

業務委託見積システム

*for Windows*

Ver 1. x. x

## プロテクタドライバーのインストール



株式会社  
アライズソリューション

〒730-0847 広島市中区江波本町4-22 4F  
Tel (082) 293-1231 Fax (082) 292-0752  
URL <http://www.aec-soft.co.jp>  
Mail : [support@aec-soft.co.jp](mailto:support@aec-soft.co.jp)



<b>1. 処理を始める前に</b> .....	<b>1</b>
1-1. プロテクタについての説明 .....	1
<b>2. プロテクトドライバのインストール</b> .....	<b>2</b>
2-1. CDメニューの起動 .....	2
2-2. インストール .....	2
2-3. ハードウェアプロテクタの接続 .....	4



## 1. 処理を始める前に

### 1-1. プロテクタについての説明

「業務委託見積りシステムfor Windows」をご利用頂くためには、ハードウェアプロテクタをコンピュータのUSBコネクタにお取り付け頂く必要があります。また、ハードウェアプロテクタのドライバソフトをインストールして頂く必要があります。


下記の図の様なスタンドアロン版は、単一のコンピュータにハードウェアプロテクタを接続し、そのコンピュータのみで弊社アプリケーションを動作させるものです。

ハードウェアプロテクタの取り付け方や必要なドライバソフトウェアのインストール方法は下記の手順で行ってください。



- ※ 予めプロテクトドライバをインストールしてください。プロテクトドライバをインストールしなければご利用になれません。また、USBタイプのハードウェアプロテクタを取り付けた状態ではプロテクトドライバのインストール・アンインストールはできません。
- ※ ハードウェアプロテクタを取り付ける前に、必ずプロテクトドライバをインストールしてください。ドライバをインストールする前に取り付けてしまった場合には、デバイスマネージャーで一旦ハードウェアプロテクタを削除した上でプロテクトドライバのインストールを行ってください。

## 2. プロテクトドライバのインストール

 システムインストールは、管理者権限のあるユーザでWindowsにログインしてから行ってください。

### 2-1. CDメニューの起動


業務委託見積システムCDをCDドライブにセットすると自動的にCDメニューが起動します。



 パソコンの設定によっては自動起動しない場合があります。その場合はマイコンピュータなどからCD内の「Autorun.exe」を起動して下さい。

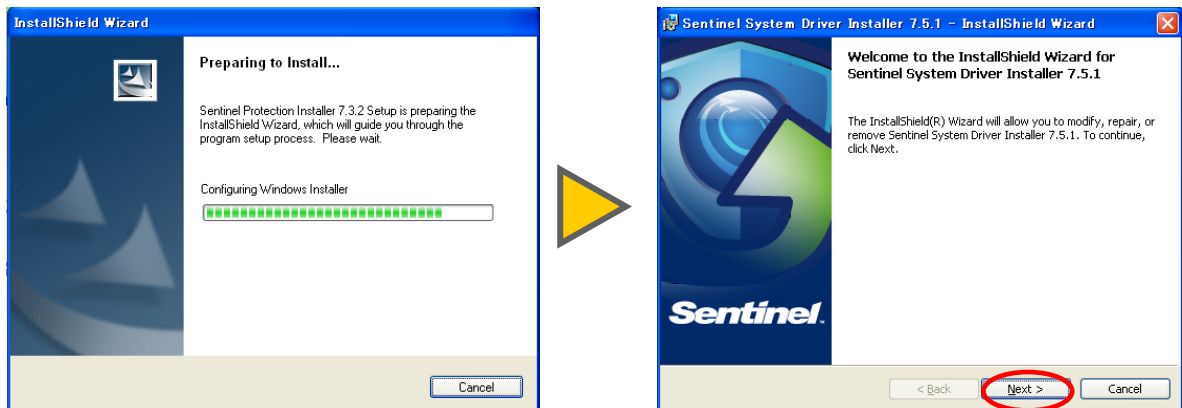
### 2-2. インストール

#### 《注意事項》

 インストールを続ける前に USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体から必ず取り外して下さい。

《スタンドアロン用プロテクトツール》の「ドライバ (VerX.X.X)」をクリックして下さい。インストールプログラムが起動します。

インストールウィザードが起動し、導入画面が起動します。Next>をクリックします。



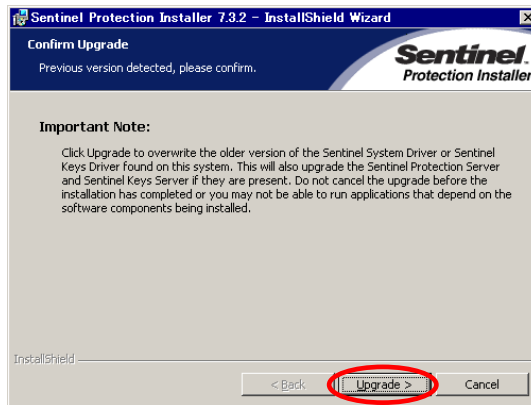
既に弊社のソフトをご利用で最新のプロテクトドライバがインストールされている場合



左記の画面になります。この場合は以降の処理は不要です。[Cancel]して下さい。

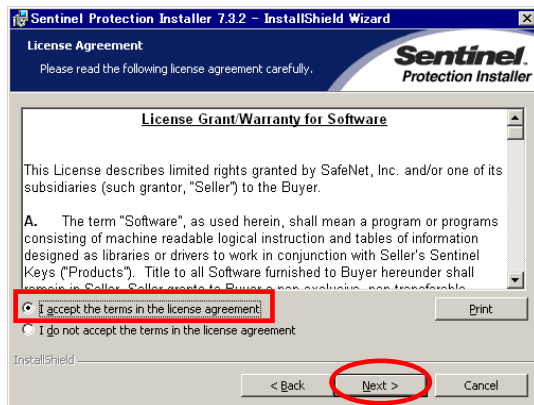
2-2 : 業務委託見積システムのインストールへお進み下さい。

セットアップ・プログラムが旧バージョンのSentinel System Driverを認識した場合

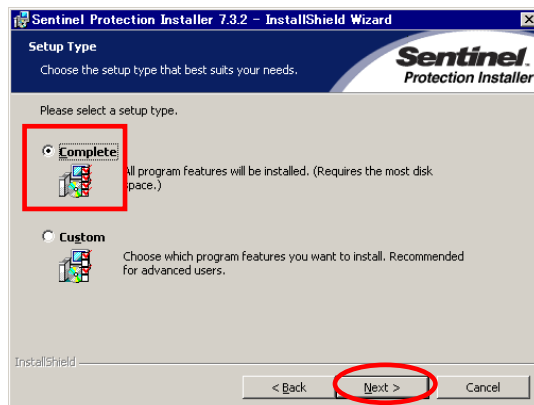


先述の導入画面の前に以下のアップグレードを確認する画面が表示されます。  
**Upgrade>**をクリックします。

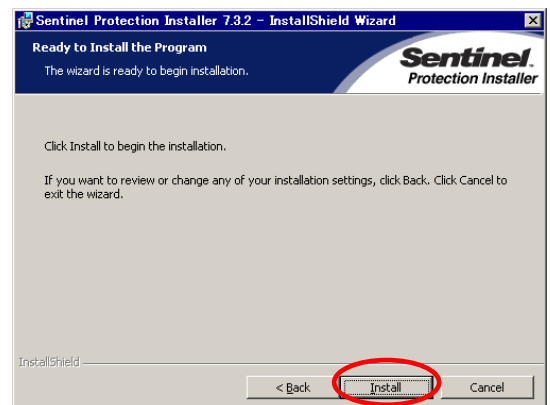
次のようなダイアログが表示されますので、I accept~(同意)を選択して進んで下さい。  
**I accept~(同意)**を選択し、**Next>**をクリックします。



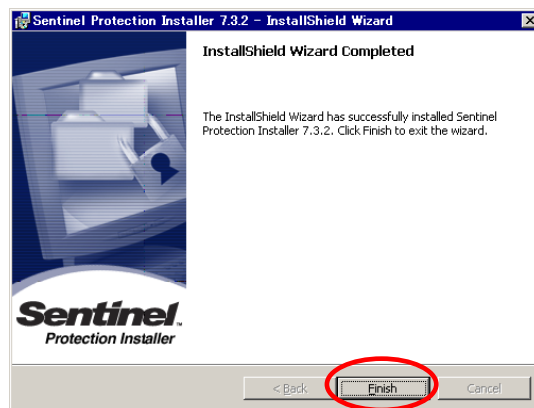
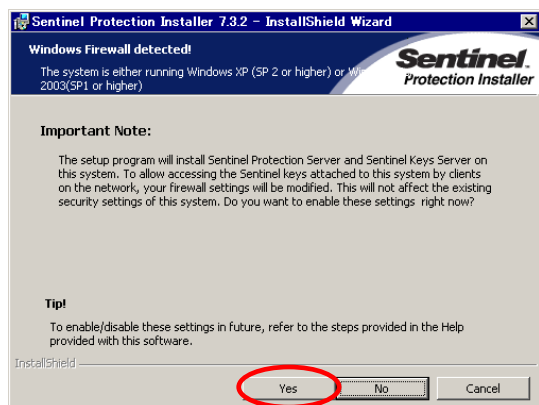
インストールをComplete(全て)にするかCustom(カスタム)が選択します。  
ここでは、**Complete**を選択し、**Next>**をクリックします。



**Install** を選択すると開始します。

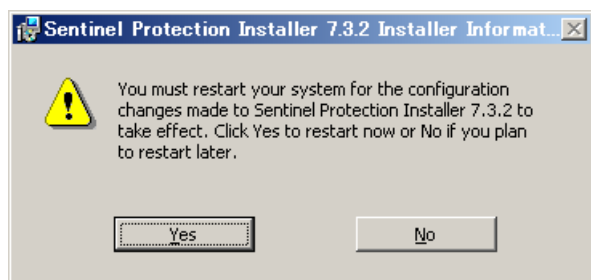


Windows ファイアウォールの環境では以下の画面が表示されます。  
Sentinel Protection Server サービスを動作させるため、ファイアウォールの例外リストの設定を行うものです。  
ここではYesを選択します。



インストールが完了すると上記の画面が表示されます。 Finishをクリックしてウィザードを終了して下さい。

続いて再起動のメッセージが表示されますので、Yesをクリックして下さい。  
Windowsが再起動します。



## 2-3. ハードウェアプロテクタの接続

### 《注意事項》



ハードウェアプロテクタを接続する前に、プロテクトドライバを必ずインストールして下さい。

USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体へ取り付けて下さい。